

GOSAT-2 TANSO-FTS-2 SWIR L2 クロロフィル蛍光・proxy 法プロダクト検証概要

2021年12月

国立環境研究所 GOSAT-2 プロジェクト

GOSAT-2 の TANSO-FTS-2 SWIR L2 クロロフィル蛍光・proxy 法プロダクト(Ver.01.07) (以下、GOSAT-2 PROXY プロダクト)のメタン(CH₄)、一酸化炭素(CO)の乾燥空気に対する全量平均濃度データ(XCH₄、XCO)について、前バージョン(GOSAT-2 PROXY プロダクト(Ver.01.04))のXCH₄、XCOと比較を行った。

現時点で前バージョンと重複する観測期間は2020年5月1日～2020年5月18日である。図1と図2にGOSAT-2 PROXY プロダクト(XCH₄、XCO)の全球における海陸別での前バージョンに対する散布図を示す。陸域の割合が60%以上100%以下のものを陸上(Land)データ、0%以上10%以下のものを海上(Ocean)データとした。データはそれぞれの品質フラグが「Good」のもののみを用いた。図中に比較したデータ数および前バージョンに対する差の平均とその標準偏差を示す。

GOSAT-2 PROXY プロダクト(Ver.01.07)のXCH₄、XCOは、前バージョンに対する差の平均とその標準偏差が極めて小さいことから、その精度は前バージョンと同等であると考えられる。

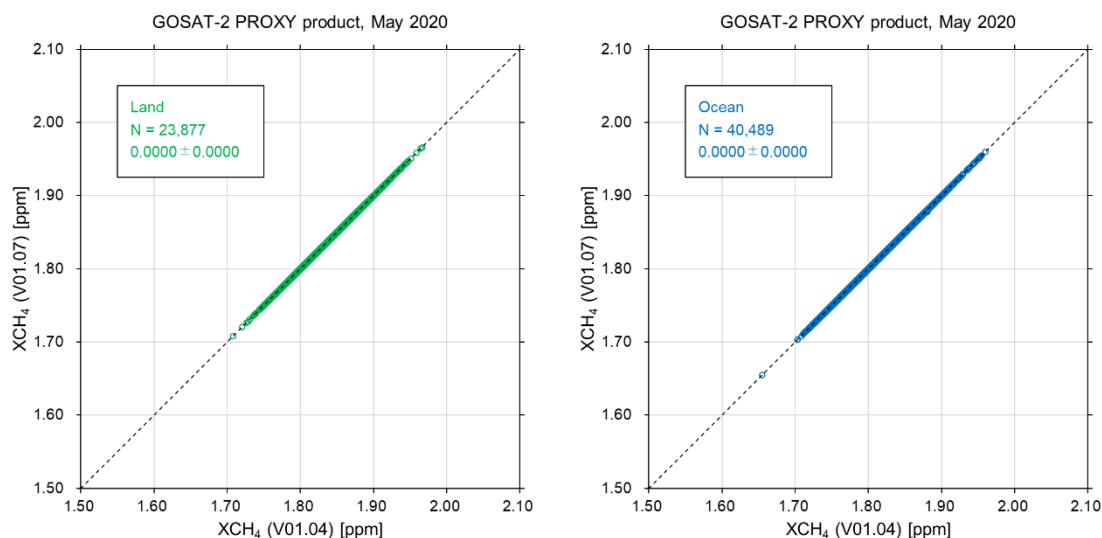


図1 GOSAT-2 PROXY プロダクト(XCH₄)の全球における海陸別での前バージョンに対する散布図(緑:陸上データ、青:海上データ)

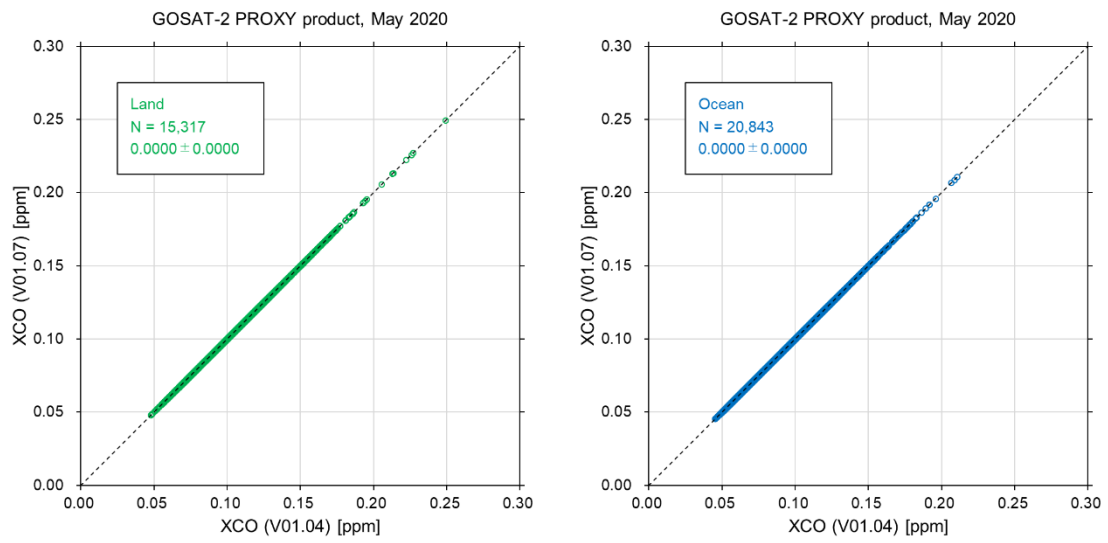


図 2 GOSAT-2 PROXY プロダクト(XCO)の全球における海陸別での前バージョンに対する散布図(緑:陸上データ、青:海上データ)